



# 四中だより

Have a nice dream

立川市立立川第四中学校

令和2年度 第11号 校長 唐亀康司  
〒190-0002 立川市幸町 5-49-1

☎ : 042(536)2411 FAX : 042(534)6949

ホームページ : <https://www.tachikawa.ed.jp/jh04/>

E\_Maile : [tachikawajh04@giga.ocn.ne.jp](mailto:tachikawajh04@giga.ocn.ne.jp)

## まとめる

学年最後の月の3月となりました。皆さん自身は、「一年間をまとめる時期」の残り1か月をどのように過ごそうと考えていますか。

さて、「3月」という言葉から、私の頭には次の二つのことが真っ先に思い浮かびます。

一つは、10年前に起こった「東日本大震災」です。平成23年3月11日午後2時46分に宮城県牡鹿半島東南東沖130kmを震源とするマグニチュード9.0の地震が発生。宮城県内では震度7を記録した地域もあり、その後の大津波の被害や火災の被害によって、亡くなられた方や行方不明になられた方が多数いらっしゃいました。当時皆さんは3歳~5歳。その時の記憶はどのようなものなのでしょうか。その当時に、よく聞かれるようになった言葉が「絆(きずな・KIZUNAなど)」でした。それまでは、「家族の絆」という形で、近親者において多く使われていた言葉でしたが、「東日本大震災」発生後には、様々な境遇、様々な想いをもちたそれぞれの人たちが、相手のことを考えて行動する。「人と人との間を留める」という思いが人々の心に存在・定着し、「絆」という言葉が多く使われました。

もう一つは、1年前。令和2年3月2日です。この日は、数日前に学校を休校にするという通知があり、これから休校となる皆さんにテストの返却や様々なお知らせ等を伝え、明日から卒業式及び修了式を除いた春休み終了までを休校とすることを、各学校で生徒に伝えた日です。早いもので、あれから1年が経ちました。この一年間、様々な制約の中、多くの行事を中止にし、皆さんに我慢させることばかりとなり、大変申し訳なく感じています。そのような中、日々の生活の中で、皆さんは自分のやるべきことを捉え、継続して努力してくれました。本当にありがとうございます。1月7日に発出された新型コロナウイルス感染拡大予防のための緊急事態宣言は継続されていますが、皆さんの学校生活を見て、友を大事にしている姿に、私は安心しています。

さて、題名を「まとめる」としました。それは、「自分自身の目標に向かい頑張ることができた一年だったのか。」を厳しく自己評価(まとめ)してほしいのです。評価(まとめ)がなければ、次の目標や取組の内容を決定する根拠が弱くなります。根拠を強め、さらなる成長に繋げるために、自分自身のことを厳しく振り返ってください。

また、私が思い出した二つの事柄から皆さんに感じてほしいことは、「人と人との間を留める」→「間留める」を意識してほしいということです。今回の話では、特別なことがあったからそのようにしてほしいと思われるかもしれませんが、そうではありません。日頃から他者を意識して、他者を大事にした生活を送ってほしいのです。温かい4中。温かい社会を作っていくため、皆さん、ぜひ意識した生活をしてください。 よろしくお祈りします。

校長 唐亀 康司

注・・・本来「間留める」という漢字表記はありませんので、ご注意ください。

今回、私の想いを伝えるために私自身が当て字にし、表現しています。ご承知おきください。